

2012年1月17日

縫製応答性を向上させた ダイレクトドライブ高速1本針本縫自動糸切りミシン 「DDL-8700A-7シリーズ」を発売



JUKIは、新型小型サーボモーターをミシン本体内の上軸に直結させダイレクトドライブ化を実現した、ダイレクトドライブ高速1本針本縫自動糸切りミシン「DDL-8700A-7シリーズ」を2月1日より発売いたします。

当機は、糸切り付き本縫いミシンのスタンダードモデルとして定評のあるDDL-8700-7シリーズをベースにモデルチェンジした機種です。従来機種はベルト駆動式でしたが、当機はダイレクトドライブ化を実現したことにより、縫製応答性（縫い始めの加速や、縫い終りの停止精度）が向上し、縫製中の音や振動が低減されているため、オペレータの疲労を大きく軽減できます。更に、従来機種に比べ自動糸切り速度が約1.5倍速くなりましたので、生産性の向上がはかれ、使用電力は従来機種に比べ約25%削減していますので、省エネ性にも優れています。また、頭部モーターカバーに操作パネルを組み込み一体化するとともに、電装ボックスも頭部モーターカバーと一体化したため、縫製工場でのセットアップが簡単に行えます。

1本針本縫ミシンは、スカート・パンツ(スラックス)・ワイシャツ・背広・ランジェリーなどのアパレル縫製工場でも多くの台数が使われているミシンです。弊社は、当機の発売により、中国・アジア地域を中心に販売を拡大してまいります。

◆特長

●生産性

- 最高縫い速度は、5,000sti/minです。(中厚物用)
- 糸切り速度はこのクラス最高となる300sti/minで、DDL-8700-7に比べ約1.5倍早くなりました。

●省エネ性

- 新型小型サーボモーターをダイレクトドライブ方式で搭載しました。この新型サーボモーターは省エネ性に優れ、高速化と高トルク化を実現しました。
- 消費電力は、DDL-8700-7に比べ25%削減しています。(電装対比)

●操作性・作業性

- 応答性に優れたダイレクトドライブの採用によりオペレータの疲労感を軽減し、心地良い使用環境を実現します。
- Vベルトが無い場合、ベルトの削り屑がなく、緩み調整も必要ありません。
- 下糸巻き装置は、操作性の良い頭部内蔵タイプです
- 電装及び操作パネルは、頭部モーターカバーと一体化し、セットアップの簡略化がはかれます。

◆発売日 2012年2月1日

■当リリースに関する問合せ先

JUKI株式会社 縫製機器ユニット 営業部

藤井 伸之

TEL:042-357-2254

JUKI株式会社 総務部 広報・IRグループ

林 桐子

TEL:042-357-2398